

情報共有について

土器川大規模氾濫に関する減災協議会

<情報共有の項目>

	タイトル	本編 ページ	別冊 ページ
情報①	大雨特別警報の解除後の氾濫に対する注意喚起	P.2	P.1
情報②	避難の考え方 (新型コロナウイルス感染症)(案)	P.3	P.33
情報③	「流域治水プロジェクト(仮称)」について	P.4	P.39

※詳細な情報は、「資料-4(別冊)」に収録

【情報①】大雨特別警報の解除後の氾濫に対する注意喚起

課題

- 大雨特別警報の「解除」を安心情報と捉えた住民が自宅に戻った後に、上流部で降った雨が下流部に流下し、時間がたってから氾濫が発生。大雨の後に時間差で発生する氾濫への注意喚起が必要

改善策

- 大雨特別警報解除後の氾濫への警戒を促すため、大雨特別警報の解除を警報への切替と表現するとともに、警報への切替に合わせて、今後の水位上昇の見込みなどの「河川氾濫に関する情報」を発表
- メディア等を通じた住民への適切な注意喚起を図るため、予め本省庁等の合同記者会見等による周知を図るとともに、SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説等、あらゆる手段で注意喚起を実施
- 「引き続き、避難が必要とされる警戒レベル4相当が継続。なお、特別警報は警報に切り替え」と伝えるなど、どの警戒レベルに相当する状況か分かりやすく解説

大雨特別警報の切替に合わせて「河川氾濫に関する情報」を発表

今後の水位上昇の見込みなどの「河川氾濫に関する情報」を発表し、引き続き警戒が必要であること、大河川においてはこれから危険が高まることを注意喚起

国土交通省 常陸河川国道事務所 気象庁 水戸地方気象台

「大雨は峠を越えたが、河川は氾濫のおそれ」

■久慈川
(氾濫危険:警戒レベル4相当)
富岡観測所(常陸大宮市)では、当分の間、氾濫危険水位を超える水位が続く見込みであり、氾濫のおそれあり。
神橋観測所(日立市)では、避難判断水位を超過しており、今後、氾濫危険水位に到達する見込み。

基準観測所	水位状況	今後の見込み
富岡 (常陸大宮市)	氾濫危険水位超過 (レベル4相当)	水位上昇中
神橋 (日立市)	避難判断水位超過 (レベル3相当)	水位上昇中。氾濫危険水位到達見込み

メディア等を通じて住民へ適切に注意喚起

メディア等を通じた住民への適切な注意喚起を図るため、予め本省庁等の合同記者会見等による周知を図るとともに、SNSや気象情報等あらゆる手段で注意喚起を実施



【情報②】 避難の考え方(新型コロナウイルス感染症) (案)

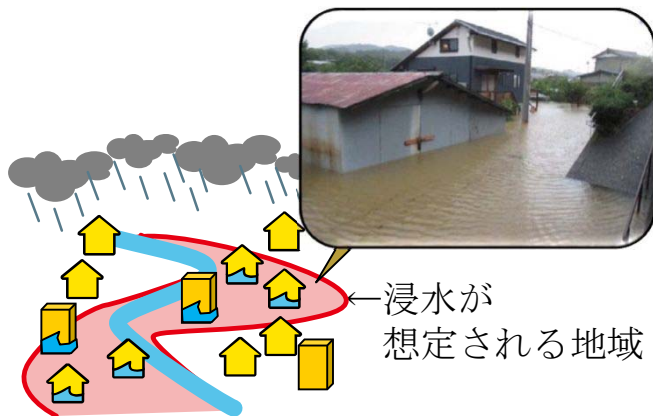
1. 災害が想定される地域では
ためらわず避難行動を

2. 命を守るための緊急的な
避難場所も選択肢に

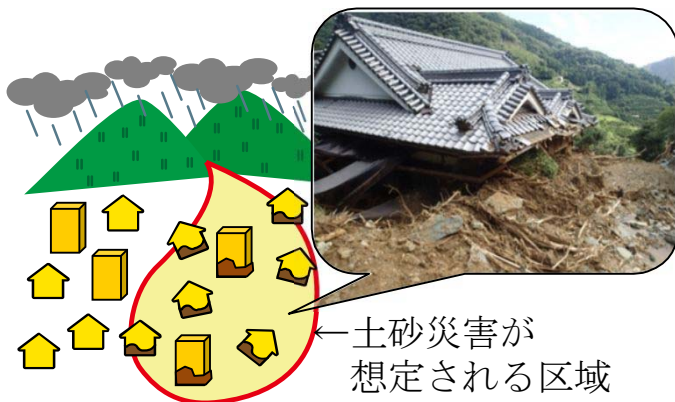
3. 避難場所での
感染症対策の徹底

事前にハザードマップ等を確認

・ 浸水が想定される地域



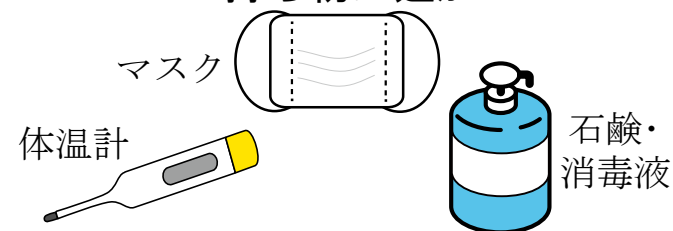
・ 土砂災害が想定される区域



※頑丈な建物の高い階や
浸水が想定されない地域等

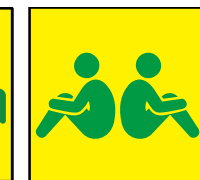
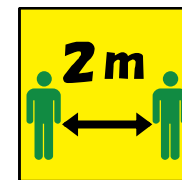
手洗い・消毒の徹底
定期的な検温・症状チェック

✓持ち物に追加



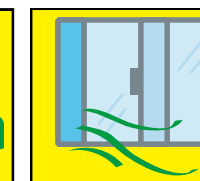
3密を避ける
(密閉・密接・密集)

2 m以上の
距離を保つ



背中
合わせ

・段ボール等
で間仕切り



換気

・発熱等の
症状がある
人のための専用スペース

※避難行動・避難生活に必要な物(食料(最低3日分)・衛生用品等)は、自助として各自で準備しましょう。

参考) 内閣府政策統括官(防災担当)、消防庁、厚生労働省「避難所における新型コロナウイルス感染症への更なる対応について」令和2年4月7日、
避難所・避難生活学会「COVID-19 禍での水害時避難所設置について」令和2年4月15日

【情報③】「流域治水プロジェクト(仮称)」について

課題 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、**集水域から氾濫域にわたる流域に関わる関係者が、流域治水対策を主体的に取組む社会を構築**する必要がある。

対応 ◆河川・下水道管理者等による治水に加え、**あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換**することによって、**施策や手段を充実し、それらを適切に組合せ、加速化させること**によって**効率的・効果的な安全度向上を実現**する。
◆併せて、**自然環境が有する多様な機能を活用したグリーンインフラを、官民連携・分野横断により推進し、雨水の貯留・浸透を図る。**

氾濫を防ぐための対策
～ハザードへの対応～

被害対象を減少させるための対策
～暴露への対応～

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
～脆弱性への対応～

(しみこませる) ※

雨水浸透施設（浸透ます等）の整備
⇒ 都道府県・市町村、企業、住民

(ためる) ※

雨水貯留施設の整備、
田んぼやため池等の高度利用
⇒ 都道府県・市町村、企業、住民

ダム、遊水地等の整備・活用

⇒ 国・都道府県・市町村、利水者

(安全に流す)

河床掘削、引堤、放水路、砂防堰堤、遊砂地、
雨水排水施設等の整備
⇒ 国・都道府県・市町村

(氾濫水を減らす)

堤防強化等
⇒ 国・都道府県

※グリーンインフラ関係施策と併せて推進

(被害範囲を減らす)

土地利用規制、高台まちづくり
⇒ 国・都道府県・市町村、企業、住民

二線堤等の整備

⇒ 市町村

(移転する)

リスクが高いエリアからの移転促進
⇒ 市町村、企業、住民

(避難態勢を強化する)

ICTを活用した河川情報の充実
浸水想定等の空白地帯の解消
⇒ 国・都道府県・市町村・企業

(被害を軽減する)

建築規制・建築構造の工夫
⇒ 市町村、企業、住民

(氾濫水を早く排除する)

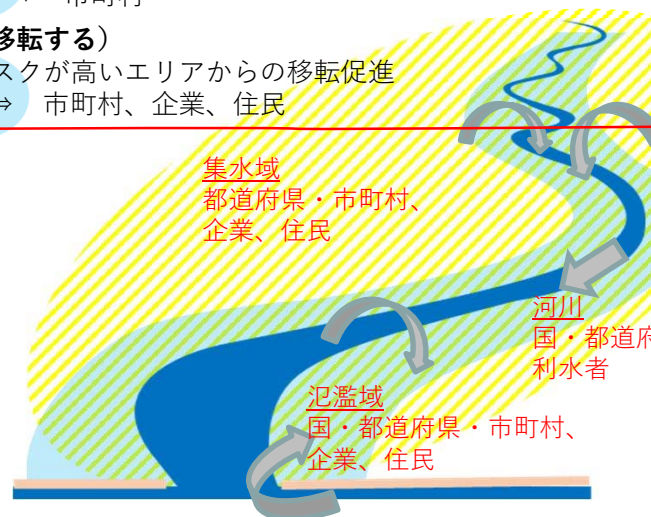
排水門の整備、排水ポンプの設置
⇒ 市町村等

(早期復旧・復興に備える)

BCPの策定、水災害保険の活用
⇒ 市町村、企業、住民

(支援体制を充実する)

TEC-FORCEの体制強化
⇒ 国・企業



凡例

河川での対策 集水域での対策 氾濫域での対策


河川管理者以外の対策

【情報③】「流域治水プロジェクト(仮称)」について

- 現在の整備水準では、気候変動により激甚化・頻発化する水災害に対応できない。
- そのため、全国の一級水系を対象に、早急に実施すべき具体的な治水対策の全体像を、都道府県や市町村と連携して検討し、「流域治水プロジェクト(仮称)」として国民にわかりやすく提示していく予定。

全国の各河川で「流域治水プロジェクト(仮称)」を公表

【イメージ】 ○○川流域治水プロジェクト

- ★戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
- ★  ... 浸水範囲(昭和XX年洪水)

(対策メニューのイメージ)

■河川対策

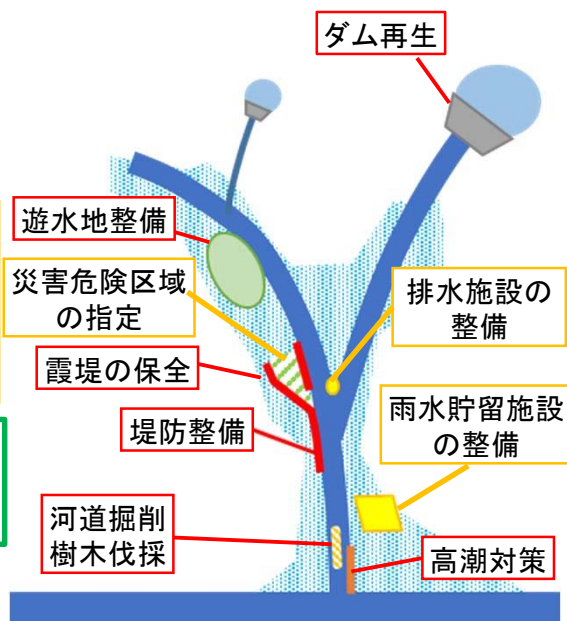
- ・堤防整備、河道掘削
- ・ダム再生、遊水地整備 等

■流域対策(集水域と氾濫域)

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等

■ソフト対策

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等



流域における対策事例について

(事例)校庭を活用した流域貯留施設



貯留時の様子



(事例)浸水範囲を減らす二線堤の整備

